

令和6年度 保育者等自己評価 集計結果と考察

R7.1.17

項目	質問	4	3	2	1	10p		自由記述・考察(共有したい課題)
						R6	R5	
基本項目	1 とことんの一員という自覚がある。	23	4	0	0	9.6	-	① 何にやりがいを感じられるのか悩むところである。 ② 休憩が十分に取れないことがある。休憩時間にやらないと終わらない仕事もある。(特に連絡帳など) a ① 質問2、3は関連していますので、働きやすい職場にするために、具体的な声を上げてください。職務へのやりがいは、 <b>単に個人の感じ方ではなく、周囲からのフィードバックも重要</b> ですから、職場の一員として個々に心がけていきたいことです。
	2 働きやすい職場である。	14	11	1	1	8.5	-	
	3 職務へのやりがいを感じている。	15	10	2	0	8.7	8.5	
	4 業務上知りえた個人情報など、秘密を守っている。	27	0	0	0	10.0	9.9	
	5 「ゼロガイドライン」を理解している。	22	5	0	0	9.5	-	
保育の環境	6 保育室は、整理整頓している。	7	15	1	0	8.2	7.8	① 自ら保育環境を見て回り、参加しなければと振り返った。 ② 行事前に作り物が多くなり、棚、部屋の中が物であふれてしまうことがよくあった。 ③ 質問9.10。留意していても実践、準備が追い付かない。 ④ 質問13。急遽、ルートを変更するときにはできていない。 ⑤ 質問13。自ら確認はしていないが、担任間で共有している。 b ① ほぼすべての項目で、昨年を上回る評価になっています。これは、職員としての意識の大きな変化ととらえることができます。 <b>均質</b> とも表現できます。こういう、高い意識の下で、引き続き、子どもの命と心を守る体制の充実に努めていきましょう。 ② 「行事前に物であふれてしまう」という振り返りは、非常に大切です。つい、保育者の目線で教室環境を捉えてしまいがちですが、同時に、 <b>保護者や来客者の目線で捉える習慣も意識</b> していきたいものです。それは、気づいた人がやるのではなく、個々の意識と互いの声掛けによって進められていくべきものです。 c
	7 室温、湿度、通気など、保育室の環境を整えている。	12	10	1	0	8.7	8.3	
	8 遊具や道具、トイレや手洗い場などを清潔に保っている。	15	8	0	0	9.1	8.4	
	9 こどもの発達に即した遊具や道具、こどもの動線に留意している。	11	10	0	0	8.8	7.7	
	10 保育室の環境は、その時々の子どもの興味関心に留意している。	11	9	0	0	8.9	-	
	11 緊急時の避難経路、避難場所を把握している。	19	6	0	0	9.4	8.9	
	12 散歩など屋外活動では、こどもの人数を複数回確認している。	19	3	0	0	9.7	9.3	
	13 散歩先や散歩ルートについて、安全を確認している。	12	8	1	0	8.8	8.9	
保育のかかわり	14 すべてのこどもに対して公平に接している。	19	5	1	0	9.3	9.2	① こどもとのふれ合いが減ってしまった。関わりに行かなければと思う。 ② できていない、していない、というわけではないが、日々反省することや考えることがあるので、保育の関わりを向上するための評価として低くしました。 ③ 近くで声を掛けたいが、離れられないときに、遠くから声を掛けてしまったり、寄り添う前に「〇〇するよ」という言葉で声を掛けてしまう。 ④ こどもたち同士で話し合ったり、発表したり、他のお友達の話を聞いたりする時間を多く取り入れて進めてきた。 ⑤ 保育士に比べて、こどもたちと関わる時間は少ないですが、一緒に給食を食べる時間や、給食室を覗きにきてくれたこどもとは、丁寧にお話したり、公平に接することを意識しています。こども達の発達、性格は細かく把握できていません。 d ① 前項の「保育の環境」同様に、ほぼすべての項目で昨年以上回る評価となり、職員が一丸となつてとことんスタイルを確かなものにしようと取り組んでいることが分かります。 e ② 質問17は、9.1pと高評価ですが、「 <b>きちんと聞くとは、大人の屈辱で子どもを言い含めることではありません</b> 。私を含め、そういう場面が散見されますから、自分の姿勢を振り返ってみてください。 f ② 質問18は、今年度主任から提示された私たちが目指す姿です。8.2pと低い数値ではありませんが、これを当たり前とすべく、一層意識していかなければなりません。とことん保育者の姿がここに集約されるのではないのでしょうか。
	15 毎朝、進んで、こどもにあいさつの言葉がけをしている。	23	2	0	0	9.8	9.6	
	16 あいさつや言葉づかいなど、こどもの手本になっている。	9	15	1	0	8.3	8.2	
	17 こどもの話は、話が終わるまできちんと聞いている。	17	7	1	0	9.1	8.5	
	18 声掛けは、こどもの声をかき消したり、先々に声を掛けたりしない。	8	16	1	0	8.2	-	
	19 目の前のこどもだけでなく、常に、視野を全体に広げて見守っている。	11	12	2	0	8.4	8.4	
	20 こどもの発達や性格を理解し、個々に合わせて接している。	13	10	1	0	8.8	8.5	
	21 こどもの体験、経験の幅を広げるような活動を工夫している。	13	8	3	0	8.5	7.8	
	22 こどもの興味を引き出し、想像力を生かせるようにしている。	9	13	2	0	8.2	8.2	
	23 こどもが自分で考えたり、挑戦したりする時間を大切にしている。	12	13	0	0	8.7	8.4	
	24 こどもに対し、褒めたり、動機づけをしたりする言葉がけをしている。	16	8	1	0	9.0	8.8	
	25 困り事は、けんかを含めこども自身が解決できるよう見守っている。	11	13	1	0	8.5	8.6	
26 ルールやマナーなどが身に付くような働きかけをしている。	14	10	1	0	8.8	8.6		

項目	質問	4	3	2	1	10p		自由記述・考察(共有したい課題)
						R6	R5	
保護者対応	27 保護者の相談に、親身に応じている。	12	8	3	0	8.5	-	① 夕方お迎えの保護者に関わらず、話しかけられるタイミングを見ていきたい。 ② 直接対応することは少ないが、機会があるときは親しみを込めた対応をしていきたい。 ③ 今まで以上に、保護者との関わりを増やし、困り事や嬉しいこと等の共有を積極的にしていきたい。 ④ 試食会や新しいお便りなど、今年は保護者に発信する機会が多かったです。保護者からの要望は、柔軟に対応していきたいです。 ① 今年度も残念ながら強い言葉で叱責を受ける場面がありました。謝罪すべきは謝罪しますが、同時に、毅然と説明すべきことは説明するようであればなりません。いずれにせよ、引き続き、保護者の立場で状況を判断するように心がけましょう。
	28 保護者からの要望や提案、苦情などは素直に聞くようにしている。	15	7	1	0	9.0	8.8	
	29 親しみを込めた挨拶や会話を自分から積極的にやっている。	16	10	0	0	9.0	9.0	
	30 会話や連絡帳などから、保護者の気持ちを読み取るようにしている。	13	8	1	0	8.9	8.7	
	31 園の方針や活動のねらいを伝えるようにしている。	6	12	4	0	7.7	8.2	
職場づくり	32 職域の違いなく、常に感謝の気持ちを伝えあっている。	20	6	1	0	9.3	9.3	① 話を伝えること、聞くこと、受け止めることの難しさを感じた。伝え方を特に学びたい。 ② 今年はあまり会議やミーティングには出ていませんが、発言しないのは、いないのと同じようなものだと思います。質問、共感、思いなど、保育している中で何か思うところがあるはずなので、ちょっとしたことでも気軽に発言できる雰囲気があれば若い保育者の方も発言しやすくなると思う。 ③ 保育の研修だけではなく、社会人としてのマナーや基礎を学べる研修もあつたら面白いだろうなと思っています。 ④ 発達の遅れや障がいの子だけでなく、他の支援の必要な子も含め、もっと知識を増やしていきたいので、積極的に研修に参加したい。 ① ほぼ全体を通して高い評価です。また、自由記述では、具体的な提案なども示されました。運営評価の本来あるべき姿として、このような <b>建設的な意見</b> を大変うれしく思います。 ② 職場づくりは、与えられるばかりのものではなく、職員個々のアイデアによって作り上げるものです。特に、質問36は、 <b>聞く側である周囲の姿勢が問われている</b> との自覚を持ち、「話し上手よりも、聞き上手」であることを心がけたいものです。
	33 些細なことであっても、職員間で報告、連絡、相談を行っている。	13	13	1	0	8.6	-	
	34 職場には、困りごとを相談できる人がいる。	13	9	4	0	8.4	-	
	35 同僚の保育方法などを見て、積極的に学ぶようにしている。	18	8	0	0	9.2	9.1	
	36 園内研修やミーティングは話しやすい雰囲気である。	12	9	6	0	8.1	-	
	37 日々の勤務表を見るなど、職員全体の動向を把握するようにしている。	17	9	1	0	9.0	8.4	
	38 研修などで身につけた知識や技術を取り入れようとしている。	13	12	2	0	8.5	7.5	
	39 職員一人ひとりが受け持つ業務は適切に分担されている。	13	7	4	0	8.4	-	
	40 運営リーダー(主任、未・リーダー、クラスリーダー)は機能している。	14	9	1	0	8.9	-	
	41 インクルーシブについて理解しようとしている。	11	15	0	0	8.6	-	
42 児童発達支援について、研修が必要だと感じている。	16	9	1	0	8.9	-		
その他	43 仕事に負担を感じることもある。	1	11	8	7	5.6	-	① 書類系は大変ですが、一人ひとりの成長を振り返るきっかけになっています。 ② 仕事の負担というよりは、自分の仕事に対する時間の振り方がうまくいわずに時間が掛かっている。克服はしたい。 ③ 書類が重なったり、書類と行事が重なったときは大変だと感じることもあるが、始めるのも遅かったりするので、自分が悪いかと「！」にしました。 ④ 休憩が回らないことがある。人が足りないと感じることもある。保育の工夫が足りないからだと言われるかもしれないが、それだけでは限界な部分もあると思う。 ⑤ 自分の仕事の割振りがちゃんとできなく、自分で自分の首を絞めてる。 ⑥ 難しい仕事だが、クラスでは楽しく過ごしている。 ⑦ 学年による差があると思う。特別すごい負担でもない。 ⑧ やらなければいけないこと、やりたいことをするには、勤務時間内では絶対にムリです。基本、園でしかできない仕事が多いので、持ち帰りもできず、私はもどかしいです。未満児は特に、午睡中も、こどもが起きてしまったら事務仕事もできない時もあるので。 ⑨ 負担ではないが、子育て支援員という立場上、スムーズに動けないことがある。(一人で園児を見れないため)最後まで、関わりを持ちたくても、難しい時がある。無資格であることに少し負担を感じる。 ⑩ 自分の職務だと思い行っていることでも、日々、続くうちに一人でやっていることのように感じることもある。負担を感じているというよりは、それぞれが意識できたことにもよっていると思う。 ⑪ 与えられた仕事しかしていないので負担と思わないようにしている。 ⑫ 業務量が多い月等、仕事が重なると負担に感じることもある。(分担してクラスの仕事+係の仕事) ① それぞれの立場で、様々な負担を感じることもあるようです。 <b>「自分の仕事の割り振りの工夫」「休憩時間の確保」「人員の工夫」</b> の3つにまとめられます。 後者の2つの関連で考えると、午後から夕方にかけて人員を増員することができれば、休憩や事務時間も確保されることになります。次年度は、現時点で保育者2名増員される見通しですから、シフトの工夫によってそれらの課題が多少、改善されることを期待します。同時に、更衣室やオフィス流し前の作業台の活用など、休憩や事務に充てられるスペースの整備も必要です。

項目	質問	4	3	2	1	10p		自由記述・考察(共有したい課題)		
						R6	R5			
その他	44 働き続ける職場として改善したいことがある。	3	9	5	9	5.6	-			
	<p>① 同じ方向を見ること、話しやすい環境</p> <p>② 3人体制でクラスを1日回すのが大変でした。いつもより寄り添うことをじっくり関わるのが難しくなってしまうこともあったので。</p> <p>③ 保育者がお互いに伝え方や接し方にも気を配ることが大切だと思う。私自身も言動を反省し意識していきたいと思う。誰もが相談しやすく、風通しの良い職場になるように、一人ひとりが心がけていく必要があると感じている。</p> <p>④ もっと自分から積極的に聞くことをするように心がけたい。</p> <p>⑤ 一人ひとりやってみたいことに挑戦し、のびのびと過ごせることが今後も大切なのではと感じる。</p> <p>⑥ 臨機応変さや気配り、気づく力が大切な職だが、気づいた人ばかりに負担がくる。気づかない人、気にならない人はそのまま...</p> <p>⑦ 新人、キャリアの差、年齢関係なく、全員が日常からコミュニケーション、フィードバック等、気配りし合いたい。</p> <p>⑧ 声を掛けてくれる先生方が多く、とても気持ちよく働けている。</p> <p>⑨ 「インクルーシブ」子どもたちはもちろん職員間にとっても重要なことだと思う。お互いを理解する気持ち、ほんの少しの思いやりもとても大切だと思います。</p>							k		
	<p>① ちょうど半数の職員が、何らかの改善が必要だと考えているようです。自由記述からは、その多くが、シクミの問題ではなく、職員の関係性によるものようにとらえられます。他の項目でも、周囲に気配りすることや、コミュニケーションに留意することなどの意見もありました。クラス内は、一応のコミュニケーションが図られているものと思いますが、クラス間やクラスを超えた職員間の意思疎通について、もう一度、職員一人ひとりが振り返ってみる必要があるのではないのでしょうか。物理的にも、未満児と以上児が離れていることもあって、一つの妨げになっていることも予想されます。いずれにせよ、<b>職域を超えた「タテ、ヨコ、ナナメ」の関係性</b>をつくるのが期待されますので、仕事ばかりではなく、レクリエーションもその方法のひとつではないでしょうか。</p>									
45 こどもの姿から、とことんの願いに沿った成長を感じることができる。	15	9	1	0	8.9	-				
	<p>① 行事を見ていると感じることがある。</p> <p>② こどもの好きなあそび、やりたいことを楽しんでいる。</p> <p>③ 好きな遊びを見つけて一人で、または、友達と夢中になって遊んでいる。行事に自主的に参加していることが増えた。</p> <p>④ 自分でやってみたいことが出来ている。 笑顔や保育者の言葉掛けに進んで行動しようとする姿を見ると、日々の積み重ねだなと感じる。</p> <p>⑤ 日々とことん学んでいて、子ども達自ら遊びを生み出しのびのび過ごしている。</p> <p>⑥ こどもの発言や日々の遊び、行事へとつながる取組から感じる。特にこの1年は。</p> <p>⑦ こども本来の力、発達のスピードをその時まで感じ、一人ひとりに合った保育が追い付かないこともある。 また、保護者側の余裕のなさや、こうなってほしいという思いの押し付けが、こどもの自分で考える経験の積み重ねと繋がらないことがある。</p> <p>⑧ 日々の生活を送る中で、今まで消極的、また関心がそこまでなかった子が自主的に活動するようになってきたこと。</p>								l	
	<p>① とことんでの成長の姿は、保育者の仕掛けによるものに違いありません。日常の保育も、行事での活躍も、黒子として出番をつくる保育者の支援そのものです。そういう自負と気概の下、引き続き、とことんならではの子どもの姿を追求していきましょう。 紆余曲折、自由と放任のはざままで揺れ動いた時期もありましたが、自由保育にかじを切って本当によかったという手ごたえは、保育公開の日の他園からの評価でも明らかです。確固たる自信をもって進めていきましょう。</p>									
	<p>運営全般について</p> <p>① いつも働きやすい職場だと感じています。園長と副園長からは社会人として勉強になることをたくさん学んでいます。</p> <p>② 特別な支援が必要な子、情緒が不安定な子がたくさんいる中、近くで見守ったり、どうしても見切れないことがある。 フリーで動ける先生がいてくれたら助かるという状況もあると感じた。</p> <p>③ 何かあればその都度お話をさせてもらっているので、特にありません。</p> <p>④ 改善策はわかりませんが(今までそうしてきた)、子育て支援員が保育の途中で抜けてしまうのは、その後のクラス活動が大変です。計画していた活動ができなくなったり、活動の切り替え時、スムーズに進まず子どもたちが落ち着かなくなったり、初めから3人体制での保育を考えておけばよいのですが、決して4人でも余裕があるわけではない、4人だからできる遊びもしていきたいし、... 難しいです。 行事前、総練習の日は特に人手不足は厳しい、手伝いに行く保育者をフォローする保育者がいない時もある。また、十分に手伝いに出られない。どちらも人員のことなので、どうにもならないのかなとは思いますが、現場の声として... です。</p> <p>⑤ 気持ちが行動の切替えのできない子に対して、「待ちたい」「関わりたい」と思うが、時間と保育者が足りない場合、もどかしく感じる。じっくり関わられた時の安心感(信頼関係)を一人ひとりと築いていきたい。(項目20を含む)</p>									m
	<p>① 「フリーに動ける保育者の配置」「子育て支援事業と通常保育の兼ね合い」「行事事前練習中の人員配置」。</p> <p>大きく3つの課題が具体的に示されました。すべて、人員配置の課題です。質問44と見解は同じですが、現場の声として、具体的な場面をお示しいただきましたので、改善できる部分もあるのではないかと捉えています。</p>									